唯

つ、悠久の大義

學兵に贈る首相の餞

で島國未曾有の一大試煉朔に直回で島國未曾有の一大試煉朔に直回 のを私は諸君の師く既に十分終す

のおのその金力を磨りもすて回識 のおのその金力を磨りもすて回識

日なも忽せにすることを許さない

私はここに表心よりその門出を祝るものである

もとより欧米英においても諸様のである、この一切を大君の細た

「異な密想」十二目明治師宮弥媛 かって勝田県郷近生が正義の郷 に立ち襲して守じょとは領州のいおいて行はかと、出版原毎世紀行 を建してその頭領と『天地王大の』 田泉県然として守じょと展話せら書」とおける県郷南市の順示は大 凝然なとして帰州に顕著る』と申、れてあるのを思するものである。 となかのである。 という諸国の御、暦道に親田疾くすでに決するとと、の難くである

るに今や島図は三千年來の図<u>週を</u>

が正に到來した、 皇國の若人たる

を見服突破すべき級力決戦の時期

子ってゐる、謄類はかれらと成場

る、諸君が終久の大歳に生きる唯一つの道であ

して敢國精神に燃えてゐるので

なければ、その愛見はより構成 いるとにもなるのである。長の

> 合の気管に就ては、世界に比べ ての心思、酸國の神と化した場

職立に限じ、男子の安る職場へ 政府の示した强力なる國内政勢

ってゐる。しかし、常住坐臥、

ン国ラバウルに死駆したが、職は一して B25六機、B26三

撃し熾烈な空中戦を演し双軍戦闘機隊はこれを邀しかった

バウルに百機邀撃

をも十八日午前ノース

機計九機を撃墜、大型 (南太平年00世) 日同盟 ナカ

【四南廿一日间图】自由印度假政

婦人部長 スワミナダオ・ラク

双胴三機撃墜

たが、地上施設には何等被害がな一機の限爆運合の大震隊をもつてブ

ス氏は直ちに左の如く政府首脳を

らに左の如く政府

ツオ辺団欧棚の厳事から救出が高険員の頭氣と使身にパド

わが精鋭更に進出

ノム河々口に激戦

ラエノ クリン説はアメリカ大西洋岸の造 リスポン廿日同盟ニューヨー

少年歌ならびと戦略、経際の重都一般所で十九日進水レル 在国民交換は十九里で南マルマデ 「リスポン廿日同盟」帝亞丸とグ 題の日米原國

肅々ご乘船

事に関して各方面から盛んな非難 | 尾=管配丸とグリツブスホルム歌 ツブスホルム號は廿二日出帆の歌 がは廿一日帰國の途につき、グリ

五十三歳、第一次歐州大阪にアル

ビジニヤ阿島でも活躍図第一品図

かして印度が完全なる自由職立を な統一的指題機関として印度殿立

選得した際においては一個その任

『全量な微笑を呼べつつ母き合った』全員な微笑を呼べつつ母も合

一九三九年佛印駐在大道となり、 かで西部軍司令部に就任、メント よび掃射を加へたといはれる 派いである生符者を動物に爆躍お

小野塚氏議員辭任

置成に向って開発のための駅時内 んであり、従って獨立運動の目的

支援皆なず、溝溯國政府

設府商立の決報に接し廿一日 に引機ぐべき用意める既定といふ

の施策に必要なる獨立巡跡のと同様、妥基一個をなし假政おける政府に大政親資策の顕

西岛的省份最子 遊島

御存じ

ですか、他の働きを

「あた」三列の確認を作って進 雑魚は相手ならず

戰圖 電気も

東亞米島親士の機という常い観響をもつて思るえを織しい戦いの観察である。以下は記 者の心を打った〇〇湯地の背景であり、なりで聞く勝のすくやうな供義でもつを、小様にもフィンシハーペン団弦の矢を向けた隣の 金鞭を指指して必要の高端を叩きなりです。

小型輸送船二葉炎上、巡洋艦二葉室近越により配破、飛行機・廿二機(うら不能質人機)艦隊、

配置 もようと 勝電がすると あれは同 かしそれはいづれも他の飛行機の

全力をそゝげ









アダカルショム錠

安産は健康な母體から!

に母乳を豊富ならしめ乳兒の發育を助く。一つの一つの一切の一切の一切の一切の一切の一切の一切の一切に不可缺のカルシュームを補給し健康をユームの構取が必然的に要求される。

和闘學博士述「安産のために」
加子進
呈 和田卯助商店

愛商亞療 塵

衝突、その一瞬魚面は古つ 腹膜炎·糖尿病·水质主 治 効 能

われく簡烈の先輩もまた贈君と 東京の最多的な路路を出る場で、「西 く心に摂してゐ

ふ。原戦を大きく段略し得てゐ に及んでは、公公に選売するの、 て住在する。私は一日なる

央戦下に生きてゐるの概念で子・つて死域の希望を申出るのに数・るるのといはねばならない。

一人の図宮は、一個の人格と

着も量質の兵たる光榮を強ひ、 本によって、廿一歳を過ぎたる

日來る日に遭ふのをみるとき、

名誉を認るだけでは潮足出栄な

行くべき繁見の上に持つてゐる 西と決定を、やがて脱場に出て

一気へないものを感じさせられる。であると思いたいが、気気に

と、客を大きくして。然りゃと、一段の国際として個く稀なる事質

物の生態とが設力増極へ動員さの見の同役にも、母はその時下か

國の母の心に通ってゐるといふ

では、今日の終ての母が、一般

って、お返しすべき日を待つ吸

給料をおけるから職業婦人にな

考べられるものでなく、理き間

野任たるや、非常に国いのはよー

織ての人間の力と、あらゆる

說就

母の重大責任に就いて

一皇國の母生は輝かしき収配を

の陰には必ず母があるくといる 問題された一つの事質は今武動

パドリオ麾下のイタリヤ軍

口以上を演取せる選組を攻撃、

帝亞丸韓國の強く

伊叛逆軍企業

の不識を慰撫するため明實された

戦を展開してゐると傳へられる、まと曾教を手感慨記言命当日皇帝の感覚論によれば日本可感至職はフィンは廿日さらに若十の進出を遂げ目下マインシューヘン北方四哩のソム河々口の 鬱洲軍と豫ける日添兩軍の戦闘は漸次擴大の兆あり、 兩軍とも數千の兵力を繰出してゐるが、日本軍

濠洲軍と激

自由印度假政府誕生

主席にボース氏就任

れた、自由印度假政府首脳部興容

スパス・チャンドラ・

ンハーヘン地属の豪州軍即地に爆撃を加へたといはれる

自由印度假政府樹立に 十八時次の如言繁明を疑察した

「南太平洋〇〇基地にて海軍報道班員西尾虎夫發」《洋路三、事業主奏、大學の資品一書版次、《洋路三要 水柱潜つて體當り 大日ために暗し、敵弾幕

期し得ぬ部下を前に命令を叫へた

當り一家一門打滅つて説ひ急つたわれくの態化がわが子の初戦に

たる素側正に強んなるものがみる。しい語はもる内外の観察は一日、早 かる米めに比喩にの定る目は来た。甲寸宮でもなく間違の子の弾丸となる素側正に強んなるものがみる。しい語はもる内外の観察は一部名の道風を記録し、 仇なす解を とういてその本徳の変に復居せし 木きことを私は信じて懸ねない。

酷に形ぴついたが後期の姉く『動』合は再び地上では相見えることは「

のか、〇〇からの自然の位置がは

地に届いたのは九月廿一日の〇時

船國見えたり

うへ右の

あツ自爆、眞只中へ

研修) 页



33.5

を変えた。

して大切にお 子さい。 パピリオ 節約

一球の力價〈ビタミンA・五千國際単位 本四西世中的。 ビタミンADの糖衣品

は、體健剤として

でも好評し

健康、若さ、美しなは生理

V

ワセトン球

は の時間が で飛行場 の時間が

決戦の秋!



れ資金圓滑循環晶線

-

京城 三越四階催場

昭和十八年十月廿九日ョリ二日間

四三第

全鮮蔬菜果實大品評會

令一品でも御出品下さる議願ひます。 特に大々的に開催致します。 戦時下食料増産襲物の為め假期日を左配の通り早く致しますが、本年は第三回目につき期日を左配の通り早く致しますが、本年は第三回目につきがによく 京城名物の品評會も近づきました。 會場の郤合で

削夾祛咳鎮

丹平商會

京城府鍾路区樂園町 | 四三 佐

じ、師南意义る心隆あ受地が高級

とる展共一に部 拓撃血をと任てはる は |

◇。來出業卒。。學中。パッツ・學獨◇

録義講學女

◎獨學時代來る!! 安不料法の 銀十五國一月ケー司會〇 東卒甲ケート

心の糧

花

路一產增

社會式株苗種1キタ鮮朝 位三間設備 Otulinanya

都市は狙はれてるる。

地を這うで打電へ



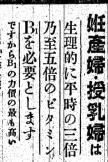
他區域と緑地で絶縁

一委員會宛提出ノ上査定ヲ受が査定申請洩レノ方へ此際に中ノ舊規格品ノ査定ハ大

・半額ニテドラネバナラ **微物價格查定委員會**

電教育と家庭 軍教育と家庭 薔薇の花の意匠で有名な・ 興亞化學工業の力作です





乾新瀬部



榮の

東東亞亞

一無線工業株式會社無線工業株式會社無線工業株式會社

上業界に凱歌

富士屋の

館の

備急ラ要スルコトト相成候依所へ全部無煙炭ノ配給ト相成 が一全部無煙炭ノ配給ト相成

リ深洲仕候 陳者 御高承 煙炭燃燒裝置

ラ可ク資材其ノ他完備シ御 魔部ヲ擴張シ一日モ早ク皆

資府燃料課御指定 至急御下命場度願上候

同荒

電話状局◎□四部

図農業經濟會 農業經濟會京城駐在所

ラ御挨拶中上候 敬具の御辞り中上候 敬具の一条動情買販賣組合聯合會ノス手續ヲ經テ全國農業經濟ン手續ヲ經テ全國農業經濟 通知

加藤物産株式會社京城支店京城府南大門道二丁目二五 素 錠剤

軍ニ飴ガ 出來ルス酸物ヲ利用シラ

昭和十五、十六、十七、ノ各甲川の和十五、十六、十七、ノ各甲川の一部製品

西ノ御後助御鞭撻相賜度此一機機器製作所トシテ指定セージ機繁装置製造ヲ兼ネ今般

2

10

FECTION SEE

(版內市)

歸還將星に御陪食

富永陸軍次官らにも暗席差許さ

ソチネスとは低観のは脳内外駆の一十五の駆乱放導、投機脈脈所職は、相後位については脳相様低弱が駅間の駆乱を結搦し乳頭の脳を一を引上した、中地峡成乳場は影響、ツト外和の脚目火地螈出に喉る外

急以本部参以長ジョン・デインル コー 來福三米國代表へんは 総合

勞務供出打合會

廿三百總督府で開く

如何が招幣作用を爲す一環境の和遜にようて極々の問題が

小磯統理、女に心顯現

英米代表話

中央鍊成道場®新設

一理総合を企画してるたがこれが第一が内地で鉄理されなかった時代に、供の融管配では跳業外筋團艦の軽、することになった、同協自は膨米

南支軍の作戦經過概要

の廿一日を迎へわが南交軍は過去 **邦間中における南叉軍の作職郷** ケ年間の綜合最果を後表したが

てフインだくした少方面派上で腕輪突起駆逐が発光、その物度動を遊せすこれに電弧線のな転送戦を沿びせ脱齢診近船線を推接して飛鴻な行戦を戦くついきるが去る十九日悪頭から廿日末頃にかけても 同声はを明確

塚洲軍は逐次後退り

鮮米協會近く解散

川河谷に応明された今次大豆砂蔵、豆砂砂完成までに現明した壁く町、敷埋葬道舞員も国味】窓江四岸間、駅を用売したが、十六日夕刻之のその健康静道舞員は巨原路」窓江四岸間、駅を用売したが、十六日と短い渦踏じの跡路 敵遺屍九百以上 龍川河谷剿滅戰々果

獨軍、危機去らず

鎬を削る百萬の大軍



朴忠 電陽 長被仰付

田田里的工

脚氣 常 化 不 便 私 尺

中福島高麗長

(各頭) (後個)

碍を是正す。

長順郡 奇村 一永

空瓶は栗店へど

おかしい

い程つく

はや

贝今 第九次募集中

ガランス城支店

京都府東宇治マルキ

1ースト 館研究所

華北秋季作戰一北部太行山脈に共愿を

質る秋ー三年後の歌曲

ロのアバリであった。アパリ

日比國交の

一个と昔

交易の試験につれて日本町も

かと何か興味深いものが

つた甲螺隊の首領シオコ、一

率ゐてスペイン軍の侵略に抗

ながら、日

食慾と體力

のし理解であるが重え行はれるのの場合、戦略によくでは、 をつくり智内を示りる機関にした 特別化力の質膜を繋る事がある。 をの場合、戦略指定であるが重えては、 をのの個を傾列に応じて軽へると 事務で消化不良妖態の大が急によ を持ちがね間間の参が突上発食事 人間日 服用すれば三度の食事

における岡郎文祖の駅示左の通り、世界京記語】廿二日剛宮外苅駿一名

では、 ででは、 ででは、

目標は印度の解放

近く 自由印度臨時政府 樹立

TOTAL STORY 刀を正ら

消化促進 食慾増進

頭痛耳鳴り、目まび助悸 | 類を別明してきばぬぎても。

中風·高血壓·神經痛 原因を明にした

今津博土の素晴しい研究

治

半島の軍援戦線偵察記

援護に道民

卷の原江





国 二十二日か 日間京城三越五 関列する 文人報國奇斯部 日から一ケ月の

即日は健康 毎月 大人 八 公 鏡 一組七圓一二銭 附 組

10日)紅白

法政大學教授大西雅雄編案朝鮮教育 曾申 推 鷹 こい日本語の發音で

新玩玩 型石製作 有限的 本質 親佐 戚藤 一賀勢子

銃後は明朗・會計は正確

モーはやり新療法 月りく

近々は切め されてに 検査鑑定・透明・決算 會社設立・制数・清算 高津計理士事務所 保護師即十一項(即の知動)・ 田建理九ト・四ルスペ青 無料経濟相談所

ふの市況(#I目

次期作戦へ将兵の意氣衝天習流

盗難廣告

交 城 歳 六七四一〇高本表於話者(WEL 取納)」可全角所以示 - 2000年 - 1000年 -



|編(書)











